



様式第 8 号（第 6 条関係）

令和 2 年 3 月 3 1 日

薩摩川内市議会

議長 福田 俊一郎 様

（会派代表者経由）

会派の名称 新 生 会

経理責任者氏名 永山 伸一



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第 8 条の規定により、次のとおり、平成 3 1 年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 7 2 0 , 0 0 0 円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	4 8 7 , 9 2 0	11/11～13 岐阜県大垣市、三重県伊勢市・志摩市 2/4・6 千葉県鋸南町、資源エネルギー庁
研 修 費	5 1 , 3 2 0	2/5 千葉市幕張メッセ（地方創生EXPO特別講演受講）
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費	4 , 1 2 9	プリンターカートリッジ
合 計	5 4 3 , 3 6 9	

3 残余の額

1 7 6 , 6 3 1 円

注 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和2年3月31日

薩摩川内市議会

議長 福田 俊一郎 様

会派の名称 新 生 会

代表者名 永山 伸一



活動報告書

1 調査研究事業

【第1回政務調査】

(1) 調査年月日

令和元年11月11日（月）～13日（水） 3日間

(2) 調査参加者

大田黒 博、石野田 浩、新原 春二、永山 伸一（4名）

(3) 調査先及び調査項目

岐阜県大垣市、三重県伊勢市及び志摩市

- ・ 大垣市地域創生総合戦略について
- ・ 大垣市市民環境賞の取り組みについて
- ・ 議会改革の取り組みについて
（議会のあり方調査特別委員会・議会報告会・意見交換会）
- ・ 伊勢市中心市街地活性化基本計画について
- ・ 市民との意見交換会、議会報告会の取り組みについて
- ・ ふるさと納税の取り組みについて

(4) 調査の概要

別添報告書のとおり

【第2回政務調査】

(1) 調査年月日

令和2年2月4日（火）・2月6日（木） 2日間

(2) 調査参加者

大田黒 博、石野田 浩、新原 春二、永山 伸一（4名）

(3) 調査先及び調査項目

千葉県鋸南町、資源エネルギー庁

- ・ 廃校跡地の活用について（道の駅保田小学校）
- ・ 第5次エネルギー基本計画について

(4) 調査の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

(1) 研修年月日

令和2年2月5日(水) 1日間

(2) 研修参加者

大田黒 博、石野田 浩、新原 春二、永山 伸一(4名)

(3) 研修先及び研修目的

千葉市 幕張メッセ

地方創生EXPO特別講演受講

- ・ 人口減少社会に対応した、まちづくりとスマートシティの将来像
- ・ 真の地方創生と公共図書館の役割


(4) 研修の概要

別添報告書のとおり

視察報告書

令和
平成 2年 3月 3日

薩摩川内市議会
議長 福田俊一郎 様

新生会
代表 永山 伸一 

政務活動費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

1. 視察年月日
令和元年 11月 11日(月)～令和元年 11月 13日(水) 3日間
2. 視察参加者 大田黒 博 石野田 浩 新原 春二 永山 伸一
3. 視察先
 - 1) 岐阜県大垣市
 - 2) 三重県伊勢市
 - 3) 三重県志摩市
4. 視察目的
 - 1) 岐阜県大垣市
大垣市地域創生総合戦略について
大垣市市民環境賞の取組について
 - 2) 三重県伊勢市
議会改革の取組について
伊勢市中心市街地活性化基本計画について
 - 3) 三重県志摩市
市民との意見交換会、議会報告会の取組について
ふるさと納税の取組について
5. 上記の概要は、以下のとおりでした。

記

- 1) 岐阜県大垣市
大垣市地域創生総合戦略について

大垣市市民環境賞の取組について

○概要

岐阜県大垣市

位置 日本列島のほぼ中央に位置する大垣市は、東京と大阪の間に、また名古屋のすぐ北西に位置しており、大都市へのアクセスが容易である。

人口 66,878 世帯 161,266 人

「大垣市地域創生総合戦略」

大垣市では、人口減少や少子高齢化社会といった課題の解決に向け、地域性や独自性を持たせながら、活力ある持続可能なまちづくりを推進するための戦略として、2015年度に、今後5年間の政策の方向性を示した「水の都おおがき」創生総合戦略を策定し、今日まで様々な分野において、地方創生の取組を進めてきている。

(1) 第1期総合戦略の概要

①計画期間

2015年度～2019年度 5年間

②基本的視点

- 1) 人口の自然減への挑戦
- 2) 人口の社会減への挑戦

③基本目標

- 1) 子育て日本一が実感できる町の創生
- 2) 地域特性を生かした雇用の創生
- 3) 地域の魅力を活かしたひとの流れの創生
- 4) 安全・安心な暮らしの創生
- 5) 広域連携による圏域の新たな魅力の創生

「大垣市市民環境賞」の取組について

大垣市では、「ハリンコが泳ぎ、ホタルが舞う水都・大垣」を望ましい環境像とする「大垣市環境基本計画」の基つき、豊かな環境を保全・創造し、健全な環境を次世代に引き継いでいくため、市民・事業者・行政が様々な環境活動を展開している。

「市民環境賞」は、平成14年度に創設したもので、環境の保全・創造に関する活動をしている個人、団体、事業者の方々を讃えることで、一層の発展を図るとともに、その意識や活動をより多くの市民に広げ、快適な、環境の保全・創造に資することを目的としているとのこと。

平成14年度～平成30年度 受賞者

個人：16 団体：44 事業者：18

2) 三重県伊勢市

議会改革の取組について

中心市街地活性化基本計画について

○概要

三重県伊勢市

位置 三重県の中東部、伊勢平野の南端部に位置する比較的温暖な気候に恵まれた都市。古くから「お伊勢さん」と呼び親しまれてきた伊勢神宮を擁し、神宮御鎮座のまちとして栄えてきた。

人口 55,530 世帯 125,320 人

「議会改革の取組について」

伊勢市議会では、市民に親しまれ、市民に信頼される議会の実現に向けて、「議会改革特別委員会」を設置し、改革先行型で議会改革に取り組んできたが、議員全員で議論するとともに、広報広聴機能の充実も図る必要があることから、「議会改革特別委員会」を発展的に解消し、新たに市民に開かれた議会の在り方についての調査を行うため、議長を除く 24 名の議員を持って構成する「議会の在り方調査特別委員会」を設置した。この特別委員会では、条例と検討分科会、広報検討分科会及び広聴検討分科会の 3 つの分科会を設けて、専門的に協議、検討を行っている。

・議会報告会・意見交換会

市民に開かれた議会づくりのため、議会が審議・決定した内容を知らせるとともに、市民からの意見を聞く場として「議会報告会・意見交換会」を実施している。

令和元年度実施予定

1 回目 令和元年 11 月 29 日（金）午後 7 時より

2 回目 令和元年 11 月 30 日（土）午後 7 時より

「伊勢市中心市街地活性化基本計画」について

中心市街地の活性化に関する法律に基づき、平成 28 年 1 月 27 日付けで「伊勢市中心市街地活性化基本計画」の認定申請を行い、平成 28 年 3 月 15 日に内閣総理大臣から認定された。

・計画期間

平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月

・計画区域

伊勢市を中心とした約 153ha

・基本方針

1. お伊勢さんならではの魅力創出によるおもてなしの観光まちづくり
2. 日々の安心な居住環境づくりと、これを支える便利で快適な商店街づくり
3. 培われた地域資源や都市基盤を活かしたまちづくり
4. 地域住民や来訪者の安全・安心を支えるやさしいまちづくり

・目標指標

1. 商店街の歩行者通行量

2,957 人／日（平成 26 年度） 3,105 人／日（令和 2 年度）

2. 空き店舗率

33.9%（平成 26 年度） 26.4%（令和 2 年度）

3. 人口の社会増減

－160 人（平成 22 年～26 年度の合計） ±0 人（平成 28 年度～令和 2 年度の合計）

3) 三重県志摩市

市民との意見交換会、議会報告会の取組について

ふるさと納税の取組について

○概 要

三重県志摩市

位 置 三重県の東南部に位置し、北部は伊勢市及び鳥羽市に、西部は南伊勢市に接し、南部および東部は太平洋に面している。

人 口 22,805 世帯 49,202 人

「市民との意見交換会、議会報告会の取組について」

志摩市議会では、議会の活性化と議会改革の一環として市民への説明責任を果たすために「市民との意見交換会・議会報告会」を開催している。

平成 30 年度は、10 月 3 日から 12 日にかけて、市内 5 会場で開催した。今回は、一般選挙後の初の開催であり、延べ 137 人の参加をいただいた。報告会の第 1 部では、平成 29 年 12 月定例会から平成 30 年 9 月定例会までの議案審議の概要等について報告した。第 2 部では、共通テーマとした「交通弱者対策」や各地域が抱える問題等について、参加者との意見交換を行い、熱心な意見・議論が交わされたとのことであった。

「ふるさと納税の取組について」

志摩市では、志摩市の発展を応援したい方々から「志摩市ふるさと応援寄付金」としてふるさと納税制度を活用している。

・寄付金の運用目的を次の 6 項目から指定できる。

1. 環境に関する事業
2. 生活・安全に関する事業
3. 産業の振興に関する事業
4. 健康・福祉に関する事業
5. 教育・文化に関する事業
6. まちづくりに関する事業

- ・平成 30 年度 志摩市ふるさと応援寄付金
2,428 件 100,732,532 円

返礼品については、5,000 円以上の寄付金で、志摩市特産品（魚貝類・真珠）等を中心に返礼しているとのことであった。

6. 所 感

大垣市では、令和元年度までの 5 年間の第 1 期総合戦略の成果や市の現状、今後の展望を踏まえるとともに、人口減少時代に対応できる力強い大垣市の創生に向けて更なる取組を進めるため、2024 年度までの 5 年間の「大垣市未来ビジョン」を根幹とする「第 2 期 水の都おおがき 創生総合戦略」を策定するとのことであった。また「市民環境賞」への取り組みで、市民の環境保全への関心が高まったとのことであった。


伊勢市議会による議会改革への取組では、「議会の在り方調査特別委員会」を設置し、市民に開かれた議会の在り方について専門的に調査を行うなど積極的な改革への意欲を感じたところである。

志摩市議会における「市民との意見交換会、議会報告会」については、各地区で出された意見等をまとめた申し入れ書を市長に提出し、提出した申し入れ書に対する回答を市長から受け取り、回答内容を市民に公表するなど市議会としての積極性を強く感じたところである。薩摩川内市議会においても「市民との意見交換会」は実施してきているが、意見交換会後の取組についても再考すべきと感じたところである。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

令和
平成 2年 3月 3日

薩摩川内市議会
議長 福田俊一郎 様

新生会
代表 永山 伸一 

政務活動費による視察及び研修を実施したので、次のとおり報告します。

1. 視察年月日
令和2年2月4日(火)～令和2年2月6日(木) 3日間
2. 視察参加者 大田黒 博 石野田 浩 新原 春二 永山 伸一
3. 視察先
1) 千葉県鋸南町 道の駅保田小学校
2) 千葉県幕張メッセ 地方創生 EXPO
3) 東京都 経済産業省資源エネルギー庁
4. 視察目的
1) 千葉県鋸南町 道の駅保田小学校
廃校跡地の活用について
2) 千葉県幕張メッセ 第3回地方創生 EXPO
地方創生 EXPO 特別講演会
3) 東京都 経済産業省資源エネルギー庁
第5次エネルギー基本計画について
5. 上記の概要は、以下のとおりでした。

記

- 1) 千葉県鋸南町 道の駅保田小学校
廃校跡地の活用について

○概 要

高齢化率44%、後期高齢者20%以上で、日本の中でも10年以上先を行った高齢化最先端の町で深刻な後継者不足、相次いだ小学校の閉校と地域活力の減退で、こ

のまま何もしなければ、まち全体の元気がなくなるとの危機感から、

- ・地域を元気にする事業をつくる。
- ・町に人と仕事を呼び込む、町民のステージ。
- ・廃校を活用し、新たな人々は交流する場所をつくる。

経済活性化の起爆剤となる事業を創造し、町に人と仕事を呼び込み、廃校を活用し、新たなコミュニティの核をつくるため、「都市交流施設・道の駅保田小学校」プロジェクトへの取り組みが始まった。

2014年学校としての役割を終え廃校となった千葉県鋸南町にある「町立保田小学校」が「道の駅 保田小学校」として生まれかわり、2015年12月にオープンした。

新しく道の駅として生まれ変わった「道の駅保田小学校」には、懐かしい給食メニューを提供する「里山食堂」をはじめ、オリジナルのソフトクリームやパンを販売するカフェや、中華料理、イタリアン料理店などが誕生したほか、体育館を利用した特産品を販売するアイテム数地域No.1の直売所「里山市場きょなん楽市」や、教室の面影を残す元教室の宿泊施設「学びの宿」、元職員棟2階の温浴施設「里の小湯」などがある。

改修事業費総額	12億1400万円
うち国庫補助金	3億4500万円
千葉県補助金	5700万円
鋸南町一般財源	8億1200万円（過疎対策事業債5億3140万円）

民間企業である、株式会社共立メンテナンスが指定管理者となり、年間約90万人もの来客があり、年商6億円、従業員約60名（地元雇用）とのことであった。

2) 千葉県幕張メッセ（研修事業）

第3回地方創生 EXPO への参加及び特別講演視聴

○概要

千葉県幕張メッセで開催された、第3回地方創生 EXPO に参加。観光・インバウンド支援、移住定住促進、ICT利活用推進、スマートシティ推進などを提供する企業との課題解決の相談や、業務委託先の比較検討などが行われる展示会であり、全国の自治体、観光協会、商工会、などが参加していた。

新生会参加・特別講演会

「人口減少社会に対応した、まちづくりとスマートシティの将来像」

講師 元総務大臣、内閣官房「まち・ひと・しごと創生戦略」有識者会議委員
東京大学客員教授 増田寛也氏

「新の地方創生と公共図書館の役割」

講師 元総務大臣、鳥取大学客員教授、早稲田大学教授 片山善博氏

3) 東京都 経済産業省 資源エネルギー庁 (研修事業)

エネルギー政策について

○概要

経済産業省 資源エネルギー庁

総務課戦略企画室

室長補佐 (総括)

植田一全氏による 講義および質疑応答

1. 日本のエネルギー情勢について
2. 第5次エネルギー基本計画
3. 2030年エネルギーミックスの実現
4. 2050年に向けた脱炭素化への挑戦

6. 所感

千葉県鋸南町の「道の駅・保田小学校」は、その名の如く、もともと小学校であった建物を、新たに道の駅として再生し、創立より126年の歴史を受け継ぎ、かつて学校であった雰囲気を残しつつ、地元の新鮮野菜から特産品までを扱い、さらに和食・洋食・中華・カフェといった地元グルメも堪能できる施設となっている。また旧校舎を利用し簡易宿泊施設も完備している。「守る・育てる・伝える里山広場」を合言葉に鋸南町の人・モノ・歴史・文化を集約させた、地域活性化の交流拠点を目指しているとのことであった。廃校跡地の利活用について先駆的に取組まれていることは、本市廃校跡地の活用としての参考となる事例であった。

千葉県幕張メッセでの「地方創生 EXPO」については、初めての参加であったが、産業振興、観光インバウンド支援、自治体向け ICT、スマートシティ関連などを提供する500社を超える企業が、自治体、観光協会、商工会、商工会議所などでその業務にかかわる方々へ、課題解決の相談や比較検討するための展示会であり、3日間で3万人を超える来場者があるとのことであった。同会場内で開催された、元総務大臣「増田寛也氏」による「人口減少社会に対応した、まちづくりとスマートシティの将来像」と題しての特別講演、同じく元総務大臣「片山善博氏」による「真の地方創生と公共図書館の役割」と題しての特別講演は、地方創生に取り組むものにとって非常に参考となった。

経済産業省資源エネルギー庁では、植田戦略企画室長補佐より「エネルギー政策について」資料に基づき、日本のエネルギー情勢や第5次エネルギー基本計画、2030年エネルギーミックスの実現や2050年に向けた脱炭素化への挑戦など詳細に説明いただきその後の意見交換にも快く応じていただき感謝したところである。今後の本市のエネルギー政策に役立てていきたい。

① 調査研究費

領 収 証

No.391903

新生会 様

令和元年 11月 7日
下記の通り領収致しました
合計金額 ¥ 263,050-

鹿児島市中 中央18番地 1
南国交通株式会社
電話 (099)255-2141

受領者印



摘 要	金 額	備 考
視察費として	263,050	
消 費 税		発行部所
合 計	¥263,050-	川内営業所 (0996)23-2161

② 調査研究費

領 収 証

新生会 殿

平成 29 年 11 月 22 日
令和

金 額											7	1	0	6	6	5
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但 ね工産代として
視察先 3ヶ所分

収 入
印 紙

上記正に領収いたしました

白 石 酒 店

〒895-0055 鹿児島県薩摩川内市西開聞町11-32
TEL・FAX 0996-22-7215

扱者印

調査研究費

③

領 収 証

No. 6535

日付 2019年11月12日
車番 001679 1000
基本運賃 ¥630円
迎車料金 ¥100円
合計 ¥730円

上記の様に領収致しました
毎度ご乗車
ありがとうございます。

有限会社 和栄タクシー

(電話) 本社営業所
0599-85-0023
(電話) 鶴方営業所
0599-43-6112
三重県志摩市志摩町和具
1903-1

鶴方駅～ホテル

④

領 収 書

2019年11月13日 -004

メーター運賃 ¥710円
固定迎車料金 + ¥100円
合計 ¥810円
現金支払 ¥810円
車両番号 2475

毎度ご乗車ありがとうございます。








大屋タクシー(株)

三重県伊勢市神社港300-2
本社 0596-36-0012
鶴方営業所 0599-43-1430

ホテル～志摩市役所

調査研究費

市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	11月11日	会派視察に伴う市内旅費	鳥丸 ～ 平佐西	405円	11/11		
2	11月11日	会派視察に伴う市内旅費	大婁 ～ 平佐西	815円	11/11		
3	11月11日	会派視察に伴う市内旅費	水引 ～ 平佐西	335円	11/11		
4	11月11日	会派視察に伴う市内旅費	隈之城 ～ 平佐西	110円	11/11		
5	11月13日	会派視察に伴う市内旅費	平佐西 ～ 鳥丸	405円	11/13		
6	11月13日	会派視察に伴う市内旅費	平佐西 ～ 水引	335円	11/13		
7	11月13日	会派視察に伴う市内旅費	平佐西 ～ 隈之城	110円	11/13		
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

計 2515円

※ 薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出。

調査研究費・研修費

①

領 収 証

No.391435

新生会 様

令和2年2月3日
下記の通り領収致しました
合計金額 ¥ 234,080-

鹿児島市中央町18番地1
南国交通株式会社
電話 (099)255-2111



摘 要	金 額	備 考
視察費用として	234,080	
{ 調査研究費分 183,520円		
{ 研修費分 50,560円		
消 費 税		発行部所
合 計	¥ 234,080-	川内営業所 (0996)23-2161

②

調査研究費

領 収 証

2020年2月4日(火)

新生会 様

¥5,600-

上記正に領収しました(消費税等
日本空港ビルディング株式会社
東京都大田区羽田空港3-3-2
03-5757-8115

¥509-を含みます)

現計

(消費税等

¥5,600-

¥509-を含みます)

但し、バス乗車券代として
羽田空港第2ターミナル～君津駅前
1400円×4人

※保管上のお願
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者
案内所

20.2-4

2505-8629-4615

③

調査研究費

領 収 証

新生会 様

No. _____

金 額
¥ 4,000 -

但し 視察代金 1000円×4人

収 入

印 紙

内 訳

現金

小切手

手形

消費税額等(%)

2020年2月4日 上記正に領収いたしました

〒299-1902 千葉県安房郡鋸南町保田724

道の駅 保田小学校

TEL 0470-29-5530
FAX 0470-50-1255

係印

調査研究費

④

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 9号

2020年02月04日

乗車料金
¥760円

立替金
円

[迎車料金 ¥300円含む]
(現金・チケット・クーポン)

上記の通り正に領収致しました。

有限会社 鋸南タクシー
千葉県安房郡鋸南町下佐久間2352-9
☎0470(55)0239
お忘れ物・ご要望の際は、上記又は下記まで
千葉県タクシー運転者登録センター TEL043-242-478760

保田駅 → 道の駅保田小学校

研修費

⑤

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 9号

2020年02月04日

乗車料金
¥760円

立替金
円

[迎車料金 ¥300円含む]
(現金・チケット・クーポン)

上記の通り正に領収致しました。

有限会社 鋸南タクシー
千葉県安房郡鋸南町下佐久間2352-9
☎0470(55)0239
お忘れ物・ご要望の際は、上記又は下記まで
千葉県タクシー運転者登録センター TEL043-242-478760

道の駅保田小学校 → 保田駅

政務活動費支払証明書

⑥

使途項目 調査研究費

支 払 年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R2.2.4	1,350 円	南国交通(株)	ねれ北～ 鹿児島空港	当日、乗車券を購入したため
〃	1,110 円	南国交通(株)	蘭牟田温泉入口～ 鹿児島空港	当日、乗車券を購入したため
〃	1,600 円	南国交通(株)	上川内～ 鹿児島空港	当日、乗車券を購入したため
〃	1,600 円	南国交通(株)	川内駅～ 鹿児島空港	当日、乗車券を購入したため
R2.2.6	1,350 円	南国交通(株)	鹿児島空港～ ねれ北	当日、乗車券を購入したため
〃	1,110 円	南国交通(株)	鹿児島空港～ 蘭牟田温泉入口	当日、乗車券を購入したため
〃	1,600 円	南国交通(株)	鹿児島空港～ 上川内	当日、乗車券を購入したため
〃	1,600 円	南国交通(株)	鹿児島空港～ 川内駅	当日、乗車券を購入したため
合計	11,320 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 2 年 2 月 6 日

会派名 新 生 会
代表者 永 山 伸 一



政務活動費支払証明書

⑦

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R2.2.6	680 円	東京地下鉄(株)	新橋駅～虎ノ門駅 170 円×4 人	当日、乗車券を購入したため
〃	680 円	〃	虎ノ門駅～新橋駅 170 円×4 人	当日、乗車券を購入したため
〃	1,680 円	東京都交通局	新橋駅～羽田空港ターミナル 420 円×4 人	当日、乗車券を購入したため
合計	3,040 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。





令和 2 年 2 月 6 日

会派名 新 生 会
 代表者 永 山 伸 一



調査研究費

市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	2月4日 2月6日	会派視察に伴う市内旅費	烏丸 ～ 樋脇	810円	2/6		往復
2	2月4日 2月6日	会派視察に伴う市内旅費	大妻 ～ 蘭牟田	440円	2/6		往復
3	2月4日 2月6日	会派視察に伴う市内旅費	水引 ～ 可愛	440円	2/6		往復
4	2月4日 2月6日	会派視察に伴う市内旅費	隈之城 ～ 平佐西	220円	2/6		往復
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

計 1910円

※ 薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

事務費

会議室プリンター インクカートリッジ

文具・事務用品・OA777ライク・包装資材
株式会社大黒紙店
 本店：薩摩川内市向田本町14-7
 TEL：0996-22-6125(代)
 FAX：0996-20-3575
 包材店直通：050-3533-3708

文具・事務用品・OA777ライク・包装資材
株式会社大黒紙店
 本店：薩摩川内市向田本町14-7
 TEL：0996-22-6125(代)
 FAX：0996-20-3575
 包材店直通：050-3533-3708

領 収 証

新生活会様
 2019/08/09 (金) 17:39

【合計】 ¥4,129-

(内消費税 ¥305)

但し、インクカートリッジ

上記正に領収いたしました。

この面を内側に折って
 保管して下さい。

M-001 R-2 担当：[REDACTED]
 RNo-20314720 SEQNo-200044864

※ 明細書 ※

 2019/08/09 (金) 17:39

#:BC-340 インクカートリッジ
 @1,951 1 ¥1,951
 #:BC-341 インクカートリッジ
 @2,178 1 ¥2,178

【小計】 2点 ¥4,129
 内消費税 ¥305

【合計】 ¥4,129

【現金】 ¥4,129
 【預り金】 ¥4,529
 【釣銭】 ¥400

上記正に領収いたしました。

印

M-001 R-2 担当：[REDACTED]
 RNo-20314720 SEQNo-200044864